

医療機器の安全管理を考えるシンポジウム

開催日時 : 平成 30 年 6 月 27 日(水) 13:30~17:40 (13:00 受付開始)
場 所 : 全電通ホール
定 員 : 400 名 (申込先着順)
参加費 : 3,000 円
主 催 : (公財)医療機器センター、(一社)日本医療機器工業会
後 援 : (公財)日本医療機能評価機構、(一社)電子情報技術産業協会

開 催 趣 旨

平成 19 年の医療法改正では医療の安全を確保するための措置に重点が置かれ、「医療機器に係る安全確保のための体制の確保」が医療施設に義務付けられました。

平成 20 年には医療機器安全管理料が認められ、平成 22 年には同管理料が増額、医療機器の安全管理の増進が図られて参りました。

(公財)医療機器センター及び(一社)日本医療機器工業会では、これらの改正に対して医療現場がどのように取り組んでおり、その実態はどのような状況であるかを把握するために平成 22、25、29 年と 3 回に渡りアンケート調査を実施して参りました。

本シンポジウムでは、平成 29 年度アンケート調査やその他調査などの分析結果から見たわが国における医療機器安全管理の現状を報告するとともに、医療機器に関する施策の動向、臨床現場における医療機器安全管理に対する取り組みの実際と課題、医療機器に関連する医療事故の現状に関するご講演をいただき、医療機器の安全管理および医療事故防止対策の推進について、参加者の皆さまと共に探ることを期待しております。

医療機関の医療機器安全管理責任者、看護師や臨床工学技士などの医療従事者、医療機器関係企業など、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

※本シンポジウムは、(一社)日本医療機器学会の MDIC (医療機器情報コミュニケーター) 認定セミナーとして 5 ポイント取得できます。

※【第 3 回治療機器・施設関連機器に関する安全管理実態アンケート調査報告書】を配布します。

プログラム

時間	演題	講師
13:00~13:30 (30分)	参加者受付	
13:30~13:35 (5分)	開会挨拶	(公財)医療機器センター 理事長 菊地 眞
13:35~13:50 (15分)	医療機器の安全管理に係る施策の動向	厚生労働省 医政局経済課 医療機器政策室 室長補佐 伊東 孝
13:50~14:30 (40分)	「治療用・施設用機器に関する安全管理実態調査」アンケート結果概要	(一社)日本医療機器工業会 販売・保守 委員会 委員長 伊藤 公
14:30~15:10 (40分)	中小医療機関における医療機器安全管理の現状	(公財)医療機器センター 医療機器産業研究所 上級研究員 青木 郁香
15:10~15:25 (15分)	休憩 (15分)	
15:25~16:05 (40分)	当院における医療機器の保守点検費用の現状	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 臨床工学部 技士長 石井 宣大
16:05~16:45 (40分)	安全使用教育の実践 ー輸液ポンプ・シリンジポンプのライセンス制度を導入してー	東京女子医科大学病院 臨床工学部 ME 機器管理室 臨床工学技士長 酒井 基広
16:45~17:35 (50分)	医療機器に関する医療事故の現状 ー医療事故情報収集等事業への報告事例からー	(公財)日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部 部長 坂口 美佐
17:35~17:40 (5分)	閉会挨拶	(一社)日本医療機器工業会 理事長 松本 謙一

➤ 会場案内

名称：全電通ホール（一般財団法人全電通労働会館）

住所：東京都千代田区神田駿河台3丁目6

最寄駅：

- 【JR中央・総武線】 御茶ノ水駅 聖橋口出口 徒歩5分
- 【東京メトロ千代田線】 新御茶ノ水駅 B3出口 徒歩5分
- 【東京メトロ丸の内線】 淡路町駅 A5出口 徒歩5分
- 【都営地下鉄新宿線】 小川町駅 A7出口 徒歩5分

※駐車場はございません。

